

令和4年度

島根
教弘
会報
vol.2



「三階から見た階段」
江津市立渡津小学校六年 室崎羽奏さん

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
株式会社 島 根 教 弘

未来を共に創るために

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部

副支部長 足立 隆 志



今から二十数年前、手探りの状態から始まった総合的な学習の時間、私が参観したのは小学校3年生の授業でした。グループ発表を聞き、感想を出し合う場面でのことです。「鹿が畑を荒らして困る」「鹿は守ってあげないといけない」といった地域に暮らす人たちの声をまとめた発表でした。発表方法についてわかりやすい、声が大きくて聞き取りやすいなどの感想が出ている

中で、ある子が突然、

「これはとても大切な問題だと思う。もっとみんなで考えないといけないじゃないですか？」

と言ったのです。鹿の置かれている状況が厳しいものであることが分かり、今何かをしなければいけないという気持ちから思わず発したのです。このクラスは日頃から問題を学級全体で考えていこうとする雰囲気があり、その上に立っての発言であったようです。一人一人が思いを出し合い、それを受け止めることのできる学級であることが総合的な学習の時間が成立する鍵であると確信した授業でした。

現在、各学校では「主体的・対話的で深い学びの実現」や「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて授業研究や教育環境の整備が進められています。

振り返ってみますと、島根の教育には「主体的・対話的で深い学び」の基礎となる多くの優れた実践がありました。指導者が別の学年を指導している時間に、子ども同士で課題を解決させていくための手立てを様々な工夫してきた複式の授業は、今でも実践されています。昭和40年代、ある中学校で実践されていた「自主協同学習」もそうでしょう。当時指導された方にお話を伺うと、課題について一人一人が調べ考えてきたことを生徒の進行のもと、話し合い、検討し、教師の助言も入れながら解決していく生徒中心の授業であったとのこと。昭和のアクティブラーニングといってもよいのかもしれない。

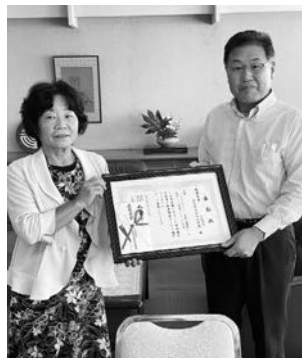
先般、山陰両県の小学校教員でつくる研究会が算数の授業の本を出版したとの新聞記事が目に残りました。題名にひきつけられて購入して読んでみました。『算数の授業で合意形成を』（下村岳人編著）です。この本には、よりよい社会の形成に必要となる合意を得る力を、一人一人が考え方を出し合い、答えを求める過程の中で育てていこうとする事例が集録されていました。自立した学び手が他者との学びを通して人間力・社会力を高めているといってもよいと思います。

この3年間は、人との接触が制限され、学校内外での人との交流に消極的にならざるを得ませんでした。だからこそ人とかかわることの意義をもう一度捉え直すことが必要ですし、その上で「対話」「協働」を通して新たな学びに向かったり、問題を解決したり、違いを乗り越えて新しいものを創っていくような姿を求めているものです。働き方改革や人手不足など新たな課題が山積みですが、日々の授業や活動が他者とかかわりを通して学びを深めていく視点で進められ、島根の子どもたちに「未来を共に創る」力が育っていくことを強く願うところです。

令和4年度

教育実践研究論文ご応募ありがとうございました

令和4年度教育実践研究論文を令和4年1月8日～3月31日に募集したところ、学校部門（教育研究団体を含む）に24編、個人部門（研究グループを含む）に9編の応募がありました。



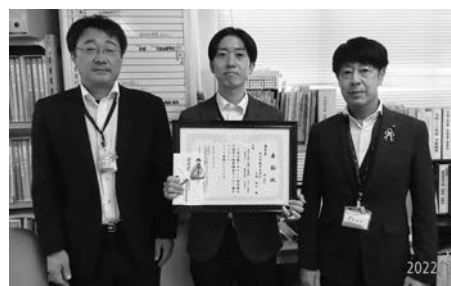
最優秀（学校部門）表彰
益田市立吉田小学校

5月から8月にかけて、第一次選考委員会（選考委員8名）、第二次選考委員会（選考委員9名）をそれぞれ2回実施し、「最優秀」「優秀」「優良」「奨励」の各賞および令和4年度日教弘教育賞推薦論文（学校部門1編）を決定しました。作品の応募状況、選考結果及び選考所感については以下に掲載しています。

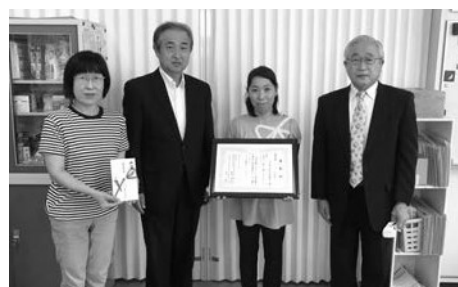
「奨励」以上の作品には助成金を贈りました。加えて、「優良」以上の作品には賞金を、「優秀」以上の作品には賞状を添えて業績を称え表彰しました。なお、「最優秀」と「優秀」に選ばれた作品は、『島根の教育研究と実践』としてまとめ、令和5年3月、各園・学校及び教育機関に配付することにしています。



最優秀（学校部門）表彰 石見養護学校



優秀（個人部門）表彰 大塚智之指導主事
（前松江市立城北小学校教諭）



優秀（学校部門）表彰 浜田市立長浜幼稚園



優秀（学校部門）表彰 大田市立大田西中学校

1. 令和4年度応募状況

(1) 部門別

学校部門(教育研究団体を含む)	24編	個人部門(研究グループを含む)	9編
-----------------	-----	-----------------	----

(2) 地域・校種別

	松江	安来	雲南	仁多	飯石	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	鹿足	島後	島前	計
幼	1					3				1					5
小	3	1	2			4	1				1				12
中							4		1		1	3		1	10
高						1									1
特	2								1	1	1				5
計	6	1	2	0	0	8	5	0	2	2	3	3	0	1	33

2. 令和4年度教育実践研究論文一覧

【学校部門(教育研究団体を含む)】

※所属、氏名は令和4年3月現在です。

地区名	学校名・申請代表者氏名	教科・領域等	研究主題等	評価
出雲	出雲市立上津幼稚園 原久美子 (7名)	幼稚園教育	少人数学級の中で、友達に思いを表し、かかわって遊ぶ幼児の育成 ～地域の自然や人との体験を生かした保育と、教師の援助を探る～	
大田	大田市立第二中学校 和田美佐 (28名)	特別支援教育	自他を大切にし、生き生きと学ぶ生徒の育成 ～特別支援教育の実践を通して～	
益田	島根県立益田養護学校 八東政義 (73名)	特別支援教育	授業改善につながる学習評価の在り方 ～指導と評価の一体化を目指して～	
出雲	出雲市立四絡幼稚園 上領芳江 (6名)	幼稚園教育	自ら心と体を動かし、たくましく生活する幼児の育成 ～興味や関心の変容を捉えた、環境の構成と教師の援助を探る～	
出雲	出雲市立荘原小学校 日野久美 (26名)	社会	ふるさとに学び今を問い続け共に明日をつくる子どもの育成 ～子どもの気づきと問いを生かした「主体的・対話的で深い学び」に向かう社会科の授業づくり～	
浜田	浜田市立長浜幼稚園 吉田英昭 (5名)	幼稚園教育	気付き、感じ、響き合う子どもをめざして ～表現を楽しむ環境の工夫～	優秀
出雲	出雲市立平田幼稚園 田中佳江 (12名)	幼稚園教育	自ら環境に関わり、遊び続ける幼児の育成 ～子どもの思いと教師の願いが活かされる指導計画の在り方を探る～	
出雲	出雲市立神戸川小学校 西村孝司 (39名)	国語	自分の思いを豊かに表現できる子どもの育成 ～「見方・考え方」を働かせた授業を通して～(2年次)	
邑智	美郷町立邑智中学校 波多野雅 (16名)	総合的な学習の時間	自らの思いや考えを仲間とともに深め合い夢に向かって歩む生徒の育成 ～伝え合う力を高め、深い学びに導く、授業のあり方の研究を通して～	
出雲	出雲市立多伎小学校 手銭俊夫 (15名)	学習指導	いきいきと表現し 伝え合い 自分の考えを深める子どもの育成 ～対話のある授業を通して～(3年次)	
大田	大田市立大田西中学校 伊藤浩二 (21名)	特別活動	生徒とともに学び合う人権学習 ～外部機関とのリモートによる取り組みに視点をあてて～	優秀
出雲	出雲市立北陽小学校 森弘 (38名)	総合的な学習の時間	ふるさとを愛し、自ら学び続ける意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる北陽の子の育成 ～夢に実現に向けた単元構想と、切実感のある対話を生み出す授業づくり～	
雲南	雲南市立西日登小学校 別所久美子 (10名)	プログラミング教育	主体的に学び共に高め合う子どもの育成 ～複式教育のよさを生かした、より深い学びをめざすICT活用～	
鹿足	津和野町立日原中学校 寺戸和泉 (21名)	学習指導	関わりあってともに学び、ともに成長しようとする生徒の育成 ～授業改善に向けての取組をとおして～	
松江	島根県立松江ろう学校 福島朗博 (57名)	特別支援教育	思考力・判断力・表現力を育てるための授業づくり ～生徒の重点目標達成に向けた実践を振り返り、次の授業へつなげる取組～	
邑智	島根県立石見養護学校 中村厚子 (50名)	教育課程	「育てたい資質・能力を育む授業づくり」 ～カリキュラムマネジメントの充実を目指したツールづくりと生活単元学習の改善～	最優秀

地区名	学校名・申請代表者氏名	教科・領域等	研究主題等	評価
大田	大田市立志学小学校 原 義 昭 (8名)	算 数	自ら進んで学習に取り組む子どもの育成 ～ユニバーサルデザインの視点をもとに～ (1年次)	
益田	益田市立吉田小学校 岡 本 昌 浩 (47名)	算 数	「『かかわり』と『奇跡の瞬間』」を大切に学習づくり (3年次) ～数学的な見方・考え方を働かせてよりよく学ぼうとする 学習集団をめざして～	最優秀
松江	松江市立朝酌小学校 持 田 健 司 (16名)	学 習 指 導	自らの学びを確かなものにする授業 ～伝え合う再現活動を通して～	
松江	松江市立朝酌幼稚園 持 田 健 司 (7名)	幼 稚 園 教 育	一人一人が自分らしさを発揮し、いきいきと遊び込む子ども をめざして	
雲南	雲南市立海潮小学校 寺 下 利 弘 (16名)	生 活	主体的に学び、自分を考えをいきいきと表現する子どもの育 成	
大田	大田市立第一中学校 上 田 直 樹 (33名)	学 習 指 導	主体的に活動に取り組む生徒の育成 ～つながりのある学びの実践をとおして～	
鹿足	吉賀町立柿木中学校 河 野 洋 司 (13名)	総合的な学習 の 時 間	タブレットを活用したふるさと教育の推進 ～GIGAスクール構想でふるさとへの愛着と学習意欲の 向上を目指す～	
浜田	島根県立浜田ろう学校 平 野 謙 二 (27名)	特別支援教育	自ら志向し表現する姿を目指して	

【個人部門（研究グループを含む）】

※所属、氏名は令和4年3月現在です。

地区名	学校名・申請者氏名	教科・領域等	研究主題等	評価
出雲	島根県立出雲工業高等学校 大 森 直 人 (2名)	プログラミング 教 育	工業高校におけるマイコンプログラミング学習 ～ドローンを使ったPython言語学習の実践（従来のプログラ ミング実習からの発展）～	
松江	松江市立城北小学校 大 塚 智 之 (1名)	特別の教科 道 徳	「特別の教科 道徳（道徳科）に対する教員の「意識向上」 と「授業改善」を目指して ～「提案授業」と「授業づくり研修会」を通して～	優 秀
鹿足	津和野町立津和野中学校 山 本 悦 生 (1名)	社 会	加納莞菴の平和思想を教材として ～フィリピンの日本人戦犯と助命嘆願活動～	
益田	益田市立益田中学校 川 上 恭 生 (7名)	数 学	主体的な学びを促す数学科における授業づくりの探究 ～「学習のふり返し」を大切にしたい取り組み～	
松江	松江市立大野小学校 神 門 克 俊 (1名)	体 育	進んで運動し、体力の向上や運動の楽しさを実感できる体育 活動の取組 ～「視覚化」と「児童発信」を意識して～	
松江	島根県立松江ろう学校 内久保 大 希 (1名)	数 学	数学レポート作成の効果 ～思考力・判断力・表現力を育てる教材の一提案～	
安来	安来市立宇賀荘小学校 三 村 恵 子 (1名)	保健室経営	子どもと一緒に創る新しい保健室と子どもの声に応える養護 教諭の在り方 ～保健室アンケートを通して～	
大田	大田市立第一中学校 渡 邊 潤 (1名)	理 科	理科の見方・考え方を働かせる科学的探究 ～中学校第2学年理科「化学変化と物質の質量」小単元を 事例として～	
隠岐	知夫村立知夫中学校 石 橋 里 佳 (1名)	総合的な学習 の 時 間	生徒が授業を創る「総合的な学習の時間」の実践から ～地域のプロフェッショナルと取り組むクリエイティブ授 業～	

3. 選考結果 [評価段階別一覧表]

部門・評価	最優秀	優 秀	優 良	奨 励	無評価	合 計
学校部門	2	2	14	6	0	24
個人部門	0	1	4	3	1	9

4. 選考委員 (敬称略)

(1) 一次選考委員

選考委員長	梶 谷 光 弘	元出雲市立斐川西中学校長
選 考 委 員	井 上 晴 美	元松江市立出雲郷幼稚園長
	伊 達 昌 史	元松江市立乃木小学校長
	五明田 典 子	元松江市立八雲中学校長
	須 田 英 典	元出雲市立莊原小学校長
	佐 堂 潔	元浜田市立三階小学校長
	飯 塚 勝	元島根県立出雲高等学校長
	坂 根 千 歳	元島根県立松江養護学校長

(2) 二次審査委員

選考委員長	野 津 建 二	島根県教育委員会教育長
副選考委員長	柿 本 章	島根県教育庁教育監
選 考 委 員	高 橋 紀 子	島根県国公立幼稚園・こども園長会長 (松江市立城北幼稚園長)
	越 野 和 胤	島根県小学校長会長 (松江市立内中原小学校長)
	奈良井 孝	島根県中学校長会長 (松江市立湖南中学校長)
	木 原 和 典	島根県公立高等学校長協会会長 (島根県立松江北高等学校長)
	福 島 美 菜 子	島根県特別支援学校長会長 (島根県立出雲養護学校長)
	奥 田 徹	島根県教育研究会会長 (松江市立美保関中学校長)
	足 立 紀 佳	(公財)日教弘島根支部運営委員 (飯南町立頓原中学校長)

5. 選考委員会の選考所感 (抜粋)

- 校務多忙の中、研究を進めていくのに幼児児童生徒の状態や日々の変化を把握するのが大変だったと思う。その中で応募校、応募者がいずれも真摯に取り組まれていた。
- 応募された論文は、各校種でそれぞれ今後の研究や授業を進めていくうえで、参考になるものが多数あった。
- プログラミング教育や保健室経営など幅広い内容が取り扱われておりよかった。一方、新しい教育課題がどんどん出てきている。新たな切り口、新たな視点で開拓してほしい。
- 内容的には優れたものがありながら、書き方がうまく構成されていないために高い評価が得られない論文があった。優れた論述の仕方をいままでの実践集録を読んで参考にしてほしい。
- 研究論文の形式を整えていない単なる実践記録になってしまっている論文が見られた。今後、選考の観点や論文の書き方の参考例などを募集要項に盛り込むよう事務局で検討してほしい。
- 主題と副題を見れば何をやりたいのかがすぐにわかる。本当に何がやりたいのかを明確に焦点化し、それを主題に据えた研究として進めるとよい。
- 目指す子供像がはっきりしていないため、どこを目指しているのかわかりにくい論文があった。
- 仮説・検証を行っていく中で、検証の在り方をどうするか、子供のアンケート、振り返りのみでよいかどうかという課題がある。
- 個人応募についても管理職に読んでもらい、一緒に考えることは大事である。若い人たちがこれから教育実践を進めていくに当たって、論文を書き上げることは一つの入り口として大切なことなので、管理職も一緒に考えたり推敲したり、客観的な目を入れるということが人材を育てるためには必要である。
- 子供の写真を載せる場合には保護者の了解を得てから提出する必要がある。幼稚園の場合は子供の活動や子供の動きが中心になるので、肖像権の配慮は園長先生の了解のもとで確実に行われることが必要である。

(公財)日教弘島根支部は 島根の子どもたち・教職員の皆様に応援しています

(1) 令和4年度高等学校等給付奨学生と、貸与奨学生を決定しました。

令和4年度給付奨学生（高校生等対象）を募集したところ41名の応募があり、選考の結果41名全員を給付奨学生として決定しました。一人15万円、総額615万円（予算660万円）を給付しました。

また、令和4年度貸与奨学生（大学生等対象）を募集したところ15名の応募があり、選考の結果15名全員を貸与奨学生として、総額1,200万円を貸与することに決定しました。

奨学生の皆さんが、学業をはじめ様々な活動に意欲的に取り組み、夢に向かって前進されることを期待しています。

給付奨学生成果報告書から（プライバシー保護のため一部改変しています。）

奨学金の給付を決定していただき、ありがとうございました。私は、動物看護師の資格をとり、将来の仕事に役立てたいと考えています。そのために専門学校に進学したいと考えていて、春休みには専門学校のオープンスクールに参加する計画を立てています。奨学金は、その時の交通費、宿泊費に使用したいと思っています。また、動物看護についての参考書やノート、文具などの勉強に使うためのものも購入しました。来年の受験に必要な費用や交通費、宿泊費などにも使う予定です。経済的に不安定な状況ですが、奨学金をいただいたことで自分の夢を叶えるために勉強に取り組めるようにもなりました。本当にありがとうございました。

この度は、給付奨学生に選んでいただきありがとうございました。私は幼い時、父を病気で亡くしたため母が経済面で厳しい中、様々な工夫をして育ててくれました。そんな母に迷惑をかけられないと考えているときに給付奨学生に選んでいただきました。家計の都合上、高い授業料の塾には通えないかわりに、いただいた奨学金で参考書や問題集を購入し勉強しました。おかげで、定期テストや模試の点数を向上させることができました。また、志望大学に無事合格し、母を安心させることができました。日本教育公務員弘済会の皆様の活動は、私をはじめ多くの方々を支えておられます。本当にありがとうございました。

(2) 令和4年度教育研究助成事業（奨励金）の助成対象を決定しました。

No.	給付団体名	研究・実践内容	給付額
1	全国算数・数学 教育研究 (島根)大会実行委員会	第104回全国算数・数学教育研究(島根)大会	50万円
2	全国連合小学校長会研究協議大会 島根大会実行委員会	第74回全国連合小学校長会研究協議大会 島根大会	50万円

(3) 令和4年度教育文化事業（学校教育活動助成、へき地学校教育支援）の助成対象を決定しました。

学校教育活動助成

No.	給付団体名	研究・実践内容	支出内容
1	島根県算数・数学教育研究会	しまね数リンピック	参加賞 (缶バッジ・クリアファイル) 142,450円
2	島根県中学校技術・家庭科研究会	島根県中学生創造ものづくり教育フェア	ロボットコンテスト大会 参加賞及び副賞 50,000円

へき地学校教育支援

No.	応募学校名	実施する事業名	給付額
1	浜田市立弥栄小学校	少人数・小規模校における効果的なデジタル教科書活用	8万円
2	邑南町立口羽小学校	全校体験活動「川の学習・川遊び」	8万円
3	邑南町立阿須那小学校	少人数指導（学年別指導）で効果的な学習の工夫	8万円
4	邑南町立羽須美中学校	ICT教育の環境整備	8万円
5	海士町立海士小学校	海士小学校区体育大会	8万円
6	知夫村立知夫小中学校	総合的な学習の時間における GIGA スクール構想の推進	8万円
7	隠岐の島町立北小学校	体力向上推進事業	8万円
8	隠岐の島町立西郷中学校	ICTを活用したオンライン授業配信事業	8万円
9	隠岐の島町立西郷南中学校	へき地学校の課題を解決するために備品・教材を購入し教育環境を整備する事業	8万円
10	隠岐の島町立都万中学校	ふるさと学習を中心とした総合的な学習の時間の充実	8万円
11	安来市立赤屋小学校	全校児童で安来市連合音楽会に参加するための楽器等の整備	5万円
12	飯南町立来島小学校	運動会・飯南町陸上大会	5万円
13	江津市立桜江中学校	体育科の授業改善を図るための備品整備事業	5万円
14	吉賀町立七日市小学校	音楽科を通して、豊かな情操を養う	5万円
15	吉賀町立蔵木小学校	和太鼓プロジェクト	5万円
16	吉賀町立柿木中学校	柿木小中合同運動会	5万円

会員の皆様がより健康で豊かな生活を営むための福祉事業も行っています。

項目	内 容	実績		
		R 3 年度	R 2 年度	R 元年度
(1)傷病見舞金	傷病で長期に継続休暇・休職をした場合に給付 ・ランクにより対象休暇日数、見舞金は異なる	9件 115,000円	11件 89,000円	16件 169,000円
(2)災害見舞金	不慮の事故で財産に著しい損害を受けた場合に給付 ・損害の程度により見舞金は異なる	0件 0円	0件 0円	2件 33,000円
(3)結婚祝金	結婚した場合、祝金 2 万円を給付 *一人 1 回	63件 1,260,000円	80件 1,600,000円	77件 1,540,000円
(4)出産祝金	出生の子ごとに 1 万円を給付 ・正会員の配偶者の出産も対象 ・正会員夫婦の場合、双方に給付	147件 1,480,000円	136件 1,370,000円	123件 1,250,000円
(5)弔慰金	物故会員に弔慰金 3 万円をお供え	9件 270,000円	8件 240,000円	10件 300,000円
(6)宿泊施設利用補助	指定の宿泊施設利用に補助 ・ B ランク会員 2,000 円 / 泊 年間 6 泊まで ・ C ランク会員 3,000 円 / 泊 年間 6 泊まで ・ D・E ランク会員 3,000 円 / 泊 年間 9 泊まで	89件 247,000円	79件 219,000円	260件 701,000円
	島根県教育会館の宿泊利用に対して補助 500 円 / 泊	219件 109,500円	196件 98,000円	731件 365,500円
(7)その他 (株)島根教弘が行う記念品贈呈等	①継続記念品 (10年、20年) ②満口・増口記念品 (40口、70口、100口) ③新規正会員加入記念品	④新規採用新規加入記念品 ⑤ユース教弘移行記念品 ⑥正会員記念品		

ここでいう「会員」とは教弘保険 6 口未満の加入者、「正会員」とは教弘保険 6 口以上の加入者をいい、(公財)日教弘の趣旨に賛同して会員になられたいわゆる「賛同会員」の方は含みません。

なお、会員は表の (1) (2)、正会員は (1) ~ (7) が対象です。

表の (1) ~ (5) 及び (7) の内①、②については、**事実が発生してから 2 年以内に申請**してください。

詳しくは、令和4年度島根教弘会報 vol. 1、(公財)日教弘島根支部のHPをご覧ください。

また、この他に、(公財)日教弘本部が実施する福利厚生サービス「日教弘クラブオフ」(賛同会員の方も対象です。)があります。

参考：福祉事業サービス基準(島根支部)

ランク	加入内容 (付属保険は含まない)	
A 会員	教弘保険 (No.52) 新教弘保険 A 型、B 型、S 型	単独又は通算して 6 口未満
B 正会員	教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 新教弘保険 K 型 (追加集団)	単独又は通算して 6 口以上 16 口未満 1 口 ~ 2 口
C 正会員	教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 新教弘保険 K 型 (追加集団)	単独又は通算して 16 口以上 26 口未満 3 口
D 正会員	教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 新教弘保険 K 型 (追加集団)	単独又は通算して 26 口以上 46 口未満 4 口以上
E 正会員	教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 新教弘保険 K 型 (追加集団)	単独又は通算して 46 口以上 5 口以上

事務局から ~島根支部の事業説明会について~

日教弘島根支部では、島根支部の事業をご理解、ご活用いただくために、県内の各学校や幼稚園等で事業説明会を開催しています。今年度は、放課後や夏休み中などに 15 分程度の時間をいただき、53 校園 (11 月 10 日現在) で日教弘の目的、歴史や島根支部の事業内容などを説明しました。説明後のアンケートでは、「奨学金事業や教育振興事業のことがよくわかりました。初耳なことが多く、聞いてよかったです。」等の感想をいただいています。今後も事業説明会を開催したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

新会員からの声

「ともに歩む」

益田市立益田東中学校

松本 悠汰

「着任式の挨拶は何を話そう?」「生徒たちは自分を慕ってくれるだろうか?」そんな不安を感じていた頃から今日まで、半年以上もの月日が経っていることに驚きを感じております。

中学からの夢を叶え、始まった教職の道でしたが、思い悩むことも多々あります。毎日の授業はなかなか上手いかず、失敗と反省の繰り返しです。しかし、そんな私に対して親身に相談に乗って下さる先生方や明るく声をかけてくれる生徒のおかげで、毎日楽しく過ごすことができます。

昨今の新型コロナウイルスは感染拡大を強めており、鳥根県での急速な拡大も見られるようになってきました。学校現場では相次ぐ学級閉鎖などから行事の延期や中止を検討するほどになってきています。

また、世界に目を移せば、ロシアによるウクライナ侵攻のニュースが後を絶ちません。戦場での被害に加え、世界各国では貿易状況などにも深刻な影響が生じています。

こうした未曾有の事態を「自分ごと」としてとらえ、自分たちにできることを生徒と一緒に考えていきたいと思えます。

そしてこの度私は、教育公務員弘済会に加入しました。周りの方々からの勧めを受け、経済的な支えが必要だと考えたからです。ライフプラン・コンサルタントの方も親身になって話をしてくださり、安心して日々を過ごすことができます。自分を支えて下さる周りの方々感謝しながら、日々成長していけるよう歩みを進めてまいります。

ご退職予定の皆様へ

教弘保険の満期は65歳です。満期まで是非ご継続いただき「島根教弘友の会」に正会員としてご加入ください。

ご退職後の教弘保険について

教弘保険の満期は65歳です。ただし、退職されますと保険料の支払い方法が変わり、給与の源泉徴収から金融機関口座のお支払いに変わります。また、65歳までの一括払いにされますと、前納割引があります。

65歳の満期後の教弘保険について

新教弘保険K型に加入できます。この場合、健康状態のいかんにかかわらず、既加入の保険金額の範囲内で加入でき、80歳まで継続できます。ただし、友の会会員資格は75歳までです。

ご退職後の正会員の特典について

・定年退職の方は、宿泊施設補助、弔慰金、会報のお届け、継続記念品・正会員記念品の贈呈を継続します。また、友の会正会員に移行しますと、結婚・出産祝金、傷病見舞金などはなくなりますが、新たに友の会正会員入会記念品、人間ドック受診補助、友の会支部総会への出席、「研修と親睦の旅」への参加が加わります。
・定年前辞職の方は、満60歳を迎えられた年の年度末までは現職会員の資格が継続します。その後、友の会会員となり上記の特典があります。

教弘保険の加入資格について

教弘保険は、満60歳6ヵ月までの現職中しか加入できません。間もなく定年を迎えられる方は、ご加入をご検討ください。

ご退職後も **教弘保険**で

教弘保険の手続きは、ジブラルタ生命のLCにお問い合わせください。

ご退職予定者説明会を開催します

これまで参加された皆さんから「大変役に立った。わかりやすかった。」など好評をいただいておりますが、本年度も日教弘共済事業の提携会社であるジブラルタ生命保険株式会社の協力を得て、「ご退職予定者説明会」を下記の通り開催します。この説明会では、教弘保険をはじめ各種保険の退職時のお払込方法変更手続きのご案内に加え、これからの生活設計のお役にたてるよう、リタイアメント・ライフのためのセミナー等を実施させていただきます。

期日・会場	日	時間	会場
松江会場	11月27日(日)	10:00~12:30	くにびきメッセ小ホール
出雲会場	12月3日(土)	10:00~12:30	朱鷺会館大会議室
江津会場	11月23日(水)	10:00~12:30	ミルキーウェイホール 2F大会議室
益田会場	11月26日(土)	10:00~12:30	益田市民学習センター202研修室

共済事業 (提携保険事業)

「教弘保険」は教職員だけが加入でき、しかも低廉な保険料で大きな保障があります。真に教職員の福利を目的とした生命保険です。

すべての教職員の皆様へ

ご自身・ご家族の病気・怪我に要する医療・介護の費用、さらに万一の場合への備えをどうするか。また一方で、子供の教育資金、住宅資金、老後資金など、生命保険はこのようなリスクを経済的にカバーする手段のひとつです。下記のライフサイクルを基に「LCサービス」を使って必要保障額を算出し、ご自身・ご家族の将来への備えを考えてみましょう。

教員として就職、そして結婚。死亡保障とともに不慮の事故に対応する保障（高度障害等）を考えましょう。




20代

子供が生まれ家族への責任が重くなります。子供への教育資金、住宅購入資金等を考え始めるこの年代は必要保障額が大きくなります。




30代

教育・住宅資金等30代の時より更に資金が必要。加齢に伴い医療保障の充実を考えなければなりません。その他にも老後資金についてもそろそろ準備を始めましょう。



40代

子供の教育資金がピークを迎え、老後資金準備も重要な年代です。加齢に伴う健康不安から、医療保障の必要性も高まり、夫婦どちらかの親の介護に取り組む場合もあります。



50代

加入例 22歳 (死亡保険金 3,000万円 災害割増特約 900万円)

加入例 39歳 (死亡保険金 3,000万円)



※ユース教弘の保障期間は39歳まで継続します。

※保険料は年齢別・男女別によって異なります。
※保険料は更新時年齢により異なります。

※ご契約にあたっては、必ず共済事業 (提携保険事業) 提携会社ジブラルタ生命保険㈱のLC(ライフプラン・コンサルタント)にお問い合わせの上、必ず「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。上記の内容は2022年10月末日現在の概要を示したものです。

損害保険事業

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険 (団体総合生活保険) 団体割引・損害率による割引あわせて

約 **41%** 割引

2022年8月~2023年7月加入のご案内

教職員賠償責任保険 + 団体総合生活保険(まなびや)

教弘まなびや スーパープラン

約12,000人の方々がご加入されています

～こんなケースで教職員個人が訴えられることも～

学校での業務中

部活動指導中に生徒がケガをし入院。顧問としてお見舞いに行った。

生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。

一方的にパワハラだと訴えられた。

いじめへの対応が適切でなかったとして、保護者から損害賠償を請求された。

日常生活

旅行先でスマートフォンを落として壊した。

自転車で他人にケガをさせた。

階段から落ちてケガをした。

新型コロナウィルス感染症にかかった。

ペットが他人に噛みついた。

自動更新 2022年8月1日始期 2022年8月1日午後4時 ~2023年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の受付期間 加入依頼日の前月の翌月1日午前0時~2023年8月1日午後4時

募集期間 2022年6月1日水~2023年6月20日火

加入者資格 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

- 公立学校の教職員
- 国立学校および私立学校の教職員
- 教育委員会の職員
- 教職員団体の役員及び職員
- 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
- 1.~5.の退職者

被保険者になれる方の範囲 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

- 公立学校の教職員
- 国立学校および私立学校の教職員

[ご注意]教育委員会・教育事務所等の職員の方は、被保険者になりません。

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等

そんな教職員の様々な不安からお守りする保険があります。ホームページから資料請求で、今なら粗品をプレゼント! →



公益財団法人 日本教育公務員弘済会 www.nikyoko.or.jp

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款により異なります。ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。 2022年3月作成 募集文書番号21-T05611

「育てたい資質・能力を育む授業づくり」

～カリキュラムマネジメントの充実を目指したツールづくりと生活単元学習の改善～

島根県立石見養護学校

主題設定の理由

本校では、令和元年度に学びの見直しプロジェクトを立ち上げ、「育てたい資質・能力」および各学部段階で「つけたい力」を示した「学びの図」を作成した。しかし、この「学びの図」を指標として、各教科等で「育成を目指す3つの資質・能力」と学校目標につながる「育てたい資質・能力」とともに育むためにはどのように授業実践を進めるかが課題となっている。また、これまで生活単元学習や作業学習を大切にしてきたが、知的障がい教育の実践上の課題として指摘される学びの系統性・連続性や各教科等を合わせた指導における各教科との関連を明確にする課題にも直面している。これらの課題解決を目指して研究に取り組んだ。

研究の内容

①生活単元学習の系統性の整理

生活単元学習の学習内容を学年および知的障がい特別支援学校学習指導要領各教科等の段階にそって系統的に6分野31項目に整理した「単元内容系統表」を作成することで、学習内容のバランスの取れた年間計画や各学年や学習の到達段階に応じた単元構成がしやすくなるようにした。各学級の児童生徒の実態に応じて、内容の変更や複数項目を組み合わせ等のアレンジを可能として活用を進めている。

②単元構成シートに沿った生活単元学習の授業実践

学校目標や「学びの図」との関連や児童生徒の実態、学習指導要領の内容との関連等、授業づくりに必要な情報整理や確認作業を進める生活単元学習のガイドラインとして「単元構成シート」を作成した。作成したシートに沿って、学級全体および対象児童生徒の実態を整理し、育てたい資質・能力、単元構成や支援の方針を明らかにした上で、授業の実践と改善を行う。

単元構成基礎シート

高等部 1年1組 指導者 ()

① あなたの学級の生活単元学習で「つけたい力」はなんですか？資質・能力との関連も選択してください。

学級でつけたい力	育てたい資質・能力との関連
② 集団の一員として役割や責任を知り、様々な体験(成功・失敗・挫折等)を他者との関わりの中で乗り越えていく力を育む。	乗り越える力・乗り越える力

② あなたの学級の実際の実態を教えてください。

※学級経営案より貼り付け

☆学級の児童生徒に育てたい資質・能力と学部段階で「つけたい力」の選定。
・「学びの図」を参照してフルダウン。

③ 児童生徒(研究対象)の実態について活用です。

教科等の実態	学級等の実態	自立活動の個別の指導計画から
(教科等の実態)	学級等の実態	学習上の困難さ・原因や背景
(単元に関する生徒の実態等)	☆個別の教育支援計画の実態表より ・各教科の到達段階や取組の変更 ・前の単元での取組の様子。 (生活単元学習の学びの履歴)	☆自立活動の個別の指導計画より ・学習上の困難さとその原因や背景について個別の指導計画から貼り付ける。 ・困難さの背景に基づいた支援や配慮を検討しシート右側の欄に記入する。

生活単元学習における長所・興味・関心

(長所)・・・
(興味・関心)・・・

④ そのために必要な単元内容系統表から選択・または設定してください。年間計画参照

分類	単元名
☆単元内容系統表の活用 ・育てたい資質・能力と「つけたい力」につながる内容はないか単元内容系統表をチェックして、必要なものを選定。	

⑤ 実践仮説
(児童生徒の状態で)児童・生徒が(単元や学習の内容)で、(具体的な手立てや支援)をすることで、「つけたい力」を育むことができるだろう。

☆単元内容系統表はあくまで参考。
・授業者の工夫でアレンジ可能。

⑦ この単元での学習内容を考えよう

単元内容系統表の学習内容	学級で選択した学習内容
※単元内容系統表から貼り付け	※単元内容系統表の内容からピックアップ、変更、追加等学級に応じてアレンジ可能。

⑧ この単元ではどの教科等の学習内容を扱いますか。

単元内容系統表より	学級で選択した内容
※単元内容系統表から貼り付け	※学級で選択、設定した学習内容と学習指導要領の各教科等の内容を確認する。 ☆学習指導要領の確認は忘れずに・・・

研究実践の考察

本校でよく取り組んでいる学習内容やこれまで十分におさえられていない学習内容が明らかになり、学習指導要領の各教科等の内容を押さえつつ、児童生徒の実態に応じた単元構成と幅広い学習活動が行うことができた。また、実践で単元構成シートを活用し手立てや支援の評価と改善を研究グループで進めたことにより、一貫性のある手立てや支援のもとで「育てたい資質・能力」に向かった児童生徒の育成を図ることができた。

島根教弘会報 令和4年度 第2号

発行日 令和4年12月1日

発行兼編集 〒690-0887 島根県松江市殿町33番地

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部

株式会社 島根教弘

責任者 河原 一 朗

TEL 0852-24-1059

FAX 0852-31-6089

TEL 0852-24-7750

印刷・製本 明和印刷株式会社